

SDGs への取組み

— 皆さまに愛される馬事公苑づくりのために —

JRA馬事公苑では、新しく生まれ変わるにあたって、これまでの馬事公苑を継承し、より発展した形で未来に繋げていく取組みにも力を入れてきました。ここでは、その一部を紹介いたします。

1 木づかいプロジェクト

整備工事でやむなく伐採された樹木をできるだけ活かし、苑内の再整備に活用しています。伐採された樹木は、リサイクルウッドとして施設の外壁やテラスのウッドデッキ材、苑内各所のベンチ、さらにはクロスカントリーエリアの飛越障害などに生まれ変わりました。武蔵野自然林の中にある「ツリーハウス」は、伐採樹を利用したパネルを1枚1枚手作業で組み上げた、新しい馬事公苑のシンボリック的存在です。



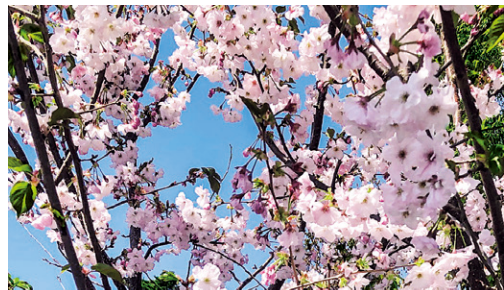
「ツリーハウス」(武蔵野自然林)



「カフェスタンド」(メインオフィス1F)

2 緑の保存、再生活動への取組み

馬事公苑の歴史を伝える大径木や、多くの方に親しまれてきた記念樹などの樹木は、樹形を崩さずに移植。また、伐採した樹木の一部は仮設プランターに移植し、イベント実施時などに苑内の彩りとして配置しています。一方、クローン技術を応用したヤエザクラの培養などに取組むとともに、「ふくしまサクラモリプロジェクト」支援の一環として、東日本大震災からの復興のシンボル、フクシマハルカという品種のヤエザクラを植樹し、苑内で大切に育てています。



苑内に移植した桜(フクシマハルカ)